



▲北の台小学校3・4年生の校外学習

10月6日、北の台小学校内で3・4年生の児童150人が、NPO法人ふるさと環境市民の「カルタ」「エネルギー」「お日様」「歴史」「ホテル」「地球」の博士6人から話を聞き、温暖化について考えました。児童たちは活発に手を挙げて、とても熱心な様子で質問をしていました。児童たちには市の歴史や自然についての知識を深め、ふるさと綾瀬に関心を持ち続けて欲しいですね。【片岡 廣一】



▲あやせ地域づくりカレッジ開校

10月7日、保健福祉プラザで「あやせ地域づくりカレッジ」の開校式と講演会が行われ、40人以上の市民が参加しました。講演では「真に豊かで魅力と活力あふれる地域社会の実現」を目指す活動について実例を交えた説明があり、参加者からは「質疑に対してのお話が具体的で面白かったです」などの感想が寄せられました。【情報提供：コミュニティサポートあやせ 奥本敏彦さん】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲コスモスの摘み取りをしました

10月12日、陽だまり公園と深谷中央2号公園で、市と市シルバー人材センターによるコスモスの摘み取りが行われました。参加者は「自分でお花を摘み取るのは楽しいです」と話してくれました。次は春に咲く花の種をまくそうです。花の摘み取りを楽しむことで、花に親しみをもち、緑を大切にしたいですね。【片岡 廣一】



▲目久尻川クリーンアップ花いっぱい大作戦

10月14日、中野橋付近で目久尻川ふるさとネットワークによる「目久尻川クリーンアップ花いっぱい大作戦」が行われました。小雨が降る中、綾瀬青年会議所の方やみこし保存会の方など約20人が、パンジーの花の苗やスイセン、チューリップの球根を植える作業を行い、川沿いのサイクリングロードを美しく彩りました。【高橋 元】



▲「想像力」や「夢」が画面いっぱいに表現されていました

10月14日と15日、オーエンス文化会館であやせ児童作品展が開催され、市内の小学校から応募のあった作品のうち、入選作品320点が展示されました。今年度は、最終審査まで残った作品に「いいね！」マークが貼られ、どの作品も子どもたちの感性豊かな「想像力」や「夢」が画面いっぱいに表現されていました。【福島 順一】



▲国民体育大会優勝の中村紗華さんが表敬訪問

10月18日、国民体育大会で優勝した中村紗華さん(小園)が、市長と教育長を表敬訪問しました。10月6日～10日に愛媛県総合運動公園陸上競技場(愛媛県松山市上野町)で開催された同大会陸上競技大会の少年女子共通三段跳で、大会新記録を樹立しました。中村さんは「大きな舞台で自分の力を発揮することができました。支えてくださった方々に恩返しができました」と話しました。



▲子どもの貧困や食生活を考える

10月20日、中央公民館で市民活動交流カフェが開催され、30人が参加しました。講師からは「子どもの貧困と社会的養護」や食べられるのに捨てられてしまう食品の活用、子どもだけでも家族でも利用できる食堂の運営などについて説明がありました。参加者からは「自分が知らないことを知る機会になった」との声がありました。【情報提供：コミュニティサポートあやせ 笠間功治さん】



▲親子で力走

10月16日、中央公民館で公民館講座の子育てサロンあひるくらぶ「ミニミニ運動会」が開催され、30人以上の親子が参加しました。手遊びを楽しんだ後、運動会が行われ、布に乗せたボールを運ぶ「気持ちを一つに」では、ボールを落とさないように慎重に運ぶ親子に「頑張っ！」と大声援が送られていました。【福島 順一】



◀大盛況 わいわいサークル

10月28日、北の台小学校体育館で、同校PTA主催のわいわいサークルが行われました。館内には協力団体やPTA、小学校などによる各種販売所が所狭しと設営され、とてもにぎわっていました。「チビッコステージ」では、子どもたちが軽快なステップでダンスを披露し、大勢の来場者から大きな拍手を受けていました。見ているこちらも本当に楽しい1日でした。【吉江 旭】



▲福祉まつりでのふれあい

10月29日、オーエンス文化会館で「福祉ふれあいまつり」が開催されました。「ほほえみサークル」が手話コーラスを披露していた小ホールでは、会場の人たちも一緒に手話で「歌う」ほほえましい光景がありました。団体やサークルのブースでも協力して活動する姿があり、皆さんの気持ちが一つになっていたようでした。【馬場 正勝】

